

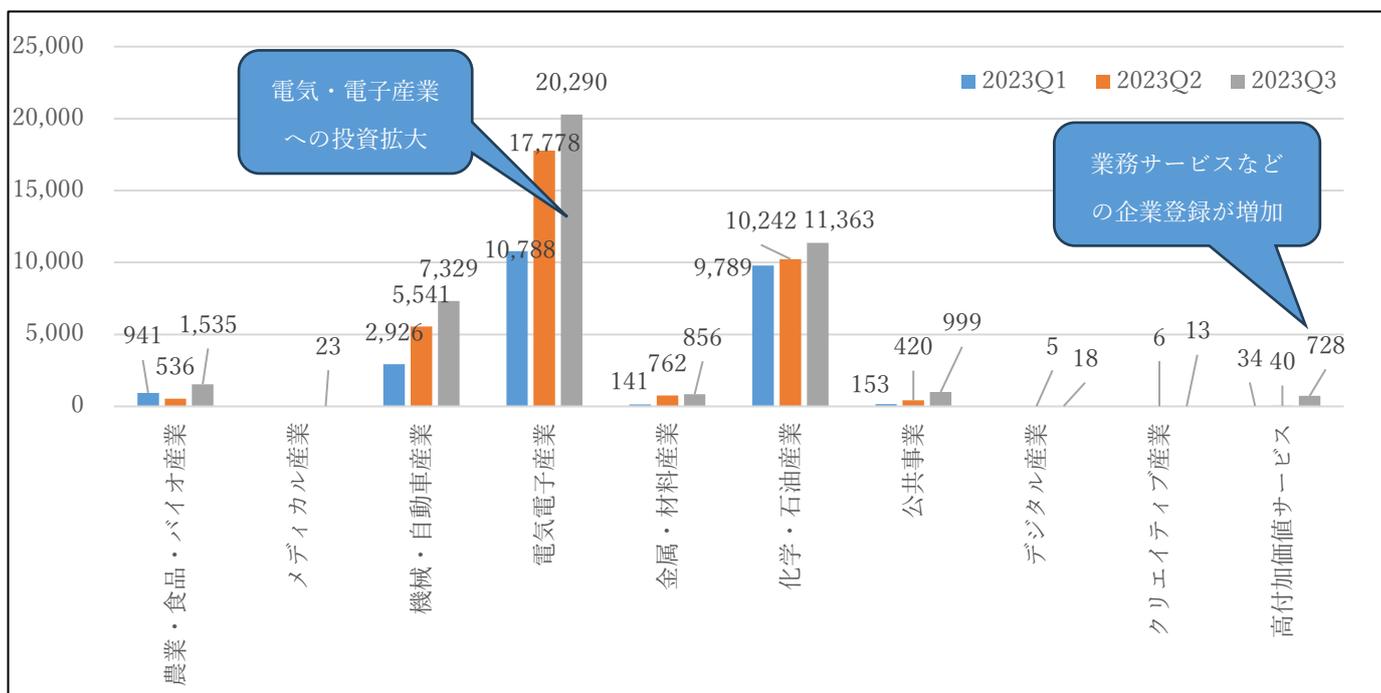
タイ経済指標斜め読み

(2023年11月版)

ビジネスサポート部
加藤義人
kato@mat.co.th

1. 【データ：日系企業投資額】

タイ投資委員会は、2023年第三四半期の外国直接投資申請額を発表した。下記は日本からの投資申請額を産業別で表示したもの。投資額はQ1からの累積額となる。



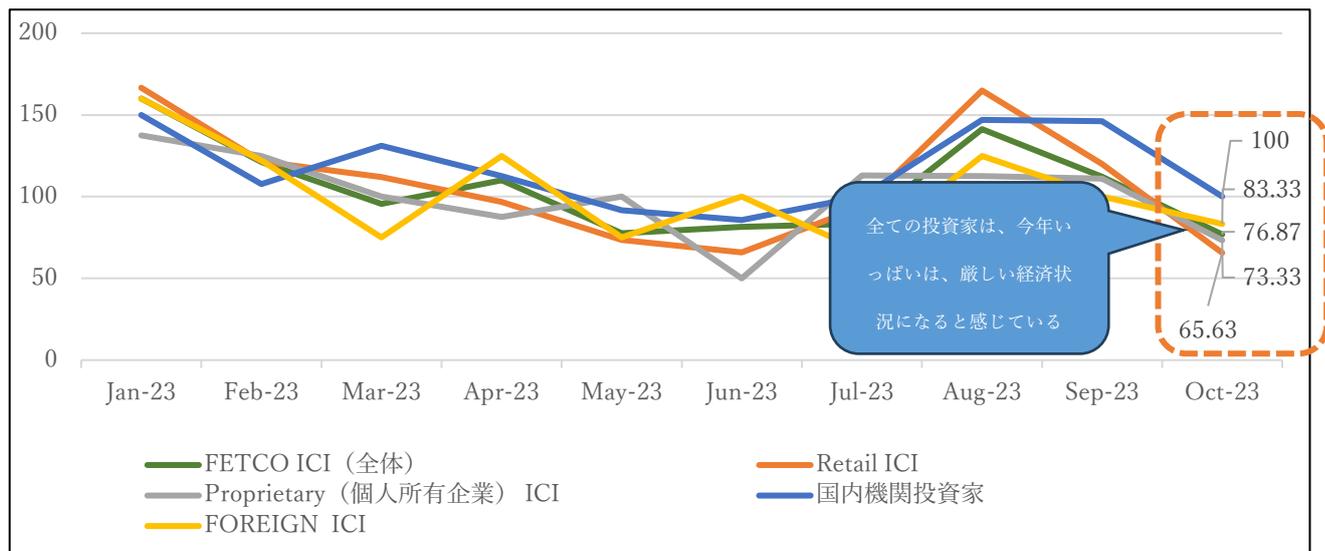
(単位：百万B)

2023年第三四半期の日本からの投資額は、431億54百万Bとなり、去年同期額（207億B）の2倍以上となった。投資額のトップは電気電子産業で、203億Bで2位の化学・石油産業を大きく引き離している。続いて3位は、機械・自動車産業は73億Bとなった。それ以外で特出すべき産業として、Q3から額はまだ低いが高付加価値サービス、公共事業、農業、メディカル産業への投資が一気に増加したことが挙げられる。

出所：<https://www.boi.go.th>

2. 【データ：景況指数】

タイ資本市場協会連盟（FETCO）は、10月の投資家信頼感指数（3か月後）を発表した。



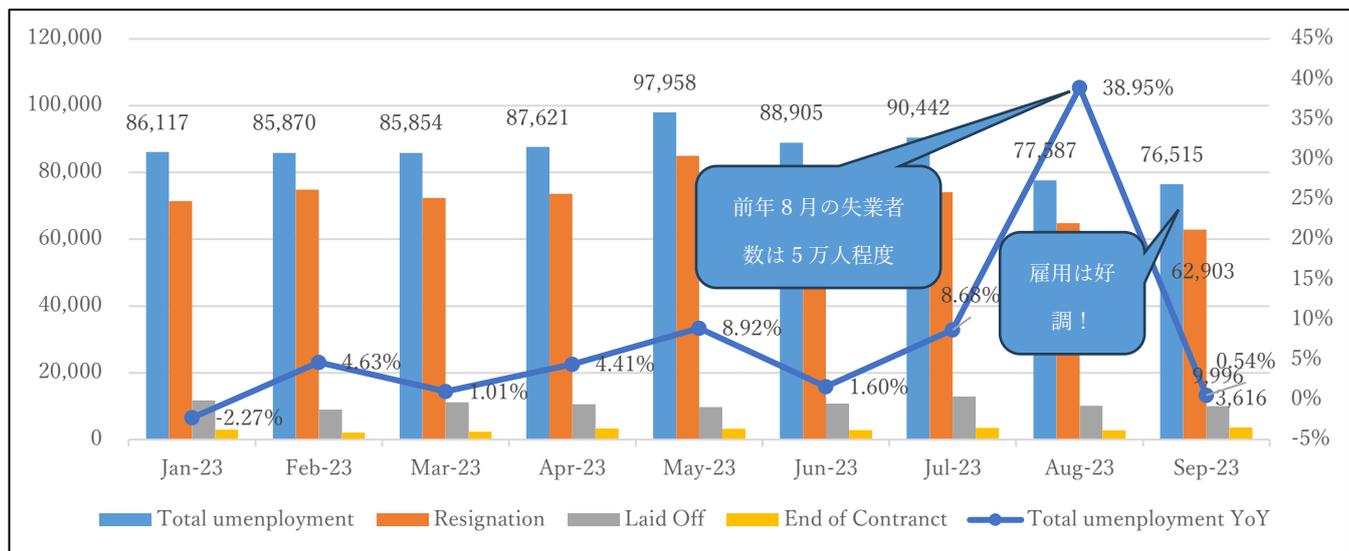
・ 投資家信頼感指数（FETCO ICI: FETCO Investor Confidence Index）、向こう3カ月の期待指数（0~200で高いほど好感）

10月のFETCO ICIは、76.78となり、9月調査結果から-16.7%となった。最も低い結果となったのは小売りICIの65.3で、5か月ぶりに70以下を記録した。要因として、ハマス・イスラエル戦争と外国人のタイ株式売り越しが挙げられている。

出所：<https://www.fetco.or.th/>

3. 【データ：失業者数】

タイ労働省雇用局（DOE）は、9月の失業者数並びに前年同月比を発表した。



※上記失業者数はDOEの失業等被保険者登録制度による登録申請を行っている人数となり、タイ全体の失業者数を表したものではありません。

9月の失業者数は76,515名、前年同月比0.54%増となった。内訳は、退職者が62,903名、解雇が9,996名、雇用契約終了が3,616名となっている。BSIやTISIなどの景気指数では、悪化傾向が続いている状況だが、タイ国内に於ける月次の企業登録数は増加傾向にあり、それに伴い雇用機会が増え失業率が低下傾向にあると思われる。

出所 : <https://www.doe.go.th/>

筆者紹介 : 2001年にタイ日系IT企業の責任者として赴任後、バンコク日本人商工会議所、タイ邦銀支店
関連子会社などで企業・経済調査などを経験し2018年MAT社に入社、現在に至る。アメリカ、香港、ミ
ャンマー、タイなど海外在住歴は30年以上。

2023 Material Automation (Thailand) Co., Ltd. All Rights Reserved.

本データは情報提供を目的として作成されたものであり、営利を目的としたものではありません。作成時点で、MAT社ビジネスサポート部が信ずるに足ると判断した政府が発表するデータに基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。掲載内容は毎月変更されます。報道目的以外での引用・転載については当社までお問い合わせください。